

## 事業事前評価表

国際協力機構東・中央アジア部  
中央アジア・コーカサス課

### 1. 案件名 (国名)

国名：ウズベキスタン共和国

案件名：ナボイ州総合医療センター機材整備計画

The Project for Improvement of Equipment of Navoi Regional Multidisciplinary Medical Center

### 2. 事業の背景と必要性

#### (1) 当該国における保健セクターの現状と課題

ウズベキスタン共和国は 1991 年に独立して以降、1998 年に開始した「国家保健改革プログラム」をはじめ保健医療システムの改革を行っているが、旧ソ連時代の遺制を色濃く残している。リファラル・システムの面では、各リファラル・レベルにおいて、専門診療科の細分化により医療機関数が増加し、施設間の連携が脆弱である点が課題となっている。さらに、近年は国民の死因の大半が心血管系疾患等の非感染性疾患になっている中、縦割り・細分化された現行のシステムが原因で、重篤な慢性疾患やその合併症に十分に対応できず、適切な医療サービスを提供する上での障害となっている。このような状況から、当国は州レベルの最高次医療施設として各州に州総合医療センターを設ける政策を決定し、ナボイ州においても新たに州総合医療センターを新設することとなった。同センターで使用する医療機材については、一部を州内の病院から移転して使用する予定だが、州内の既存の病院の医療機材は老朽化が進行しており、それらの機材だけでは質・量ともに対応しきれないため、同センターが適切な医療サービスを提供できるように新規の整備が必要とされている。

#### (2) 当該国における保健セクターの開発政策における本事業の位置づけ及び必要性

2007 年の大統領令「国家保健医療プログラムのさらなる改革と実施に係る方針」において、保健医療システムの改善の必要性を強調し、州レベルでは総合医療センターを設立する旨を示した。また、同国の包括的な国家開発計画である「福祉向上戦略(2013～2015 年)」では、州総合医療センターの強化を優先開発課題の一つとして掲げており、増加傾向にある疾病の防止・削減のための最新医療設備の導入についても施策の一つとして言及している。

#### (3) 保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

我が国の対ウズベキスタン共和国国別援助方針の重点分野「社会セクターの再構築支援」に合致し、JICA 国別分析ペーパーにおいて「農村部における所得向上及び保健医療・教育の充実」を重点分野とする分析とも合致する。

過去の協力では、開発調査「ナボイ州保健医療サービス改善計画調査」(2006-2008)を実施し、ナボイ州の医療施設間の役割分担の明確化、効果的なリファラル体制の構築等につき提言を行った。また技術協力プロジェクト「非伝染性疾患予防対策プロジェクト」(2010-2013)ではナボイ州をプロジェクトサイトとして、健診システムの試行に取り組ん

だ。本事業実施と過去の協力との相乗効果により、ナボイ州において予防医療を含む包括的な医療サービスの提供が可能となる。

#### (4) 他の援助機関の対応

ドイツ復興金融公庫（KfW）は、同センターを含む6州の医療施設へ病院機材の整備（全体額約22.5百万ユーロ）を行う予定である。また世界銀行は「Health System Improvement Project（I）～（III）」にて、機材整備・人材育成等を通じ1～2次レベルの医療サービスへのアクセス改善に取り組んでいる。

### 3. 事業概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、ナボイ州ナボイ市において、第3次医療施設である州総合医療センターに、検査・診断・治療用機材を整備することにより、同センターのサービス供給体制の構築を図り、もって州の医療体制の改善に寄与することを目的とする。

#### (2) プロジェクトサイト/対象地域名：ナボイ州ナボイ市

#### (3) 事業概要

##### 1) 土木工事、調達機器等の内容

【機材】総合病院としての機能に必要な医療機材（計92品目）

腹腔鏡、X線撮影装置（一般、Cアーム型、移動式）、コンピューター断層撮影（CT）装置、血管造影装置、超音波診断装置（3機）、人工呼吸器（6機）、手術台（3台）、血球分析装置、高圧蒸気滅菌器等（3機）等。

\*機材の持続的活用ためにメンテナンスの役割が大きいCT装置、血管造影装置へのメンテナンス契約を引き渡し後3年間付帯する。

##### 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

コンサルティング・サービスとして実施設計、調達監理、機材メンテナンス契約管理等を予定する。ソフトコンポーネントとしては、機材の立ち上げや操作方法を教える「ユーザートレーニング」及び、日々の定常的なメンテナンスを行う「保守管理」を予定。

#### (4) 総事業費/概算協力額

総事業費7.27億円（概算協力額（日本側）：6.86億円、ウズベキスタン共和国側：0.41億円）

#### (5) 事業実施スケジュール（協力期間）

2015年8月～2019年11月（計52ヶ月。入札期間を含む）

#### (6) 事業実施体制（実施機関/カウンターパート）：

保健省（Ministry of Health）、ナボイ州総合医療センター（Navoi Regional Multidisciplinary Medical Center：NRMMC）

#### (7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

##### 1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限と判断されるため。

2) 貧困削減促進：特になし。

3) 社会開発促進（ジェンダーの視点、エイズ等感染症対策、参加型開発、障害者配慮等）：

特になし。

(8) 他事業、ドナー等との連携・役割分担：同センターへ医療機材を整備予定である KfW と調達機材の内容に重複がないよう保健省へ要請済であるとともに、KfW とも直接情報交換済である。また世界銀行による支援は、本事業と対象レベルが異なり 1 次、2 次医療施設への支援のため、3 次医療施設を対象とする本事業との相乗効果により、州内の各レベルの医療施設において適切な医療サービスが提供されることとなる。

(9) その他特記事項：特になし。

#### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1) 事業実施のための前提条件：ウズベキスタン側にて病院運営に必要な予算が確保される。ナボイ州総合医療センターに適切な医療人材が配置される。

(2) プロジェクト全体計画達成のための外部条件：プロジェクト全体計画達成のための外部条件：2015 年春の大統領選による行政機能の停滞及び隣国アフガニスタンからの国際治安部隊撤退に伴う治安低下がない。

#### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果：当国タシケント州及びジザク州一次医療改善計画の事後評価等では、無償資金協力で調達した機材の維持管理費用を保健省が確保していない、医療施設が維持管理計画を定めていない等の問題が指摘された。これを受け、中央省庁による病院の予算・維持管理のモニタリング体制を案件形成時に確立することが望ましいとの教訓が得られている。

(2) 本事業への教訓：上記の教訓を踏まえ、本事業では、事業の持続性の確保のために、協力準備調査において、維持管理に関する体制、予算計画を書面にて確認するとともに、保健省がナボイ州総合医療センターの財務面・維持管理面を適切にモニタリングできる体制・計画を十分に検討、確認する。

#### 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

(1) 妥当性：本事業はナボイ州唯一の総合医療機関による医療サービス供給体制を整え、ナボイ州の医療体制の効率化に資するものであり、当国の保健政策で重点とされる医療の質の向上にも合致するため妥当性は高い。

(2) 有効性

1) 定量的効果

指標名	基準値 (2015 年予測値)	目標値 (2019 年) 【事業完成 3 年後】
外来患者数	27,000 人	54,000 人
入院患者数	2,500 人	6,000 人
CT 検査数	0 人	4,200 人
血管造影検査数	0 人	240 人
一般・透視 X 線撮影件数	0 人	6,000 人

2) 定性的効果

- ・同センターにおける医療サービスの質が向上する。
- ・総合病院としての機能のもとで、合併症患者への診断、治療が提供される。
- ・他病院が代替していた、成人を対象とした医療センターとしての役割を、同センターが担うことで、ナボイ州における医療サービス提供体制が改善する。

## 7. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる主な指標  
6. (2) 1) のとおり。
- (2) 今後の評価のタイミング
  - ・ 事後評価                      事業完成3年後

以 上